

神奈川県立西湘高等学校

令和7年4月8日（火） 第69回入学式

桜の花が各地で満開を迎える、暖かい春がやってまいりました。

この良き日に、本日、神奈川県立西湘高等学校の第69回目の入学式を執り行うことができました。

ただいま315名の皆さんに入学を許可いたしました。
新入生の皆さん、そして保護者の皆様、改めまして、ご入学おめでとうございます。

私たち、教職員一同、皆さんのご入学を、心より歓迎いたします。

本日、この入学式を、執り行うにあたりまして、ご多忙中にもかかわらず、ご臨席いただきました

PTA会長伊藤夏紀様、同窓会会长古川達高様、多数のご来賓の皆様、そして保護者の皆様、高いところからではございますが、心よりお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは、9年間の義務教育を終え、大人への第一歩を踏み出しました。皆さんにとっ

て、高等学校という学びの場は、未知の世界であり、不安を感じるところなのかもしれません。

西湘高校は、「基本的な生活習慣を身に付けており、学習と部活動を両立させたうえで、目標を達成しようとする生徒」や「本校の教育方針を理解し、ルールをしっかりと守る態度を身に付けている生徒」を求めており、皆さんには、それに応じて入学されました。

皆さんには、この西湘高校で、思う存分、授業や学校行事、部活動に励んでもらいたいと思います。そして高い目標に向かって飛躍してください。

それに応える教育が西湘高校にあります。

西湘高校では、プログラミング教育の取組を活かし、論理的思考力、協働して課題を解決する能力を育成しています。

皆さんは、いろいろな考え方や、立場の人がいることを理解できる人であると思います。

これからは、多様性を認め合うことで、新たな価値を創造し、豊かな人間性が育まれる時代になります。

今後、様々な分野で、リーダーとして活躍していく皆さんですから、この西湘高校が、お互いに、他人を認め

合い、誰にとっても居心地の良い場となるよう、一人ひとりが心がけて、いきましょう。

いま世界は大きな転換期に入っているといわれています。

ウクライナやイスラエルでの戦争。

アメリカのトランプ大統領の仕掛けた相互関税。

ミャンマーで起こった大地震をはじめとする自然災害。

政治・経済・自然環境等、今までの常識では考えられないくらい大きく変化しています。

この変化を乗り切るために、今まで通りのことをやるだけではなく、自分の頭で考え、先を見越して行動することが大切です。

皆さんには、変化に対応できるような柔軟な考え方を、この西湘高校で育んでもらいたいと思います。

最後に、新入生の皆さんに覚えてもらいたい言葉があります。

『西湘プライド』です。

これは同窓会が使用している言葉です。

西湘高校で高校生活を送った者として、「自信と誇りを持つていこう」という意味だと考えます。

西湘高校は、間もなく創立 70 年を迎えます。この間、2 万 4 千人をこえる卒業生を世に送り出してきました。卒業生は、国内外の政治、経済、文化、科学、スポーツとあらゆる場面で活躍しています。

今日から皆さんもそんな西湘高校の一員です。

西湘生として、自信と誇りをもってこれから 3 年間を過ごしてください。

私は、新入生オリエンテーションの時に皆さんに、このようなお話をしました。

皆さんにはこの西湘高校で「二兎を追い二兎を得る」そのような生活をしてほしいと思います。と。

時間を惜しんで、がむしゃらに頑張ることができるのは、高校時代の特権だと思います。

そして、その頑張りは、10 年後、20 年後の皆さん的人生の糧となります。

西湘高校に入学した皆さんには、「二兎を追い二兎を得る」そのような力が備わっています。

ぜひ自分を過小評価せず、自信と誇りをもって、その力を発揮してください。

この3年間で、皆さんのが飛躍されることを、期待しています。

これから3年間、皆さんのが、精一杯活躍する姿を見ることを、楽しみにしています。

以上をもって校長のことばといたします。

ご入学おめでとうございます。